

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和4年7月19日

施設名	スポーツ科学センター	所管課	文化生活スポーツ部 スポーツ課
-----	------------	-----	-----------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県スポーツ振興財団	指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日
施設所在地	高知市春野町芳原2485番地(高知県立春野総合運動公園体育館地下)		
事業内容	1 利用の許可等に関する業務 2 利用料金の徴収等に関する業務 3 施設及び設備の維持管理に関する業務 4 スポーツ医科学を通じたスポーツの振興に関する業務 5 その他高知県スポーツ科学センターの目的を達成するために必要とする業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 1 面積・……延床面積 339.49㎡ 2 施設・……測定スペース、更衣室(男女各1カ所)、シャワー室(男女各1カ所)、EV 1基、事務室、トイレ(男:小1・大1、女:大1、多機能:大1)、空調設備 3 利用時間・9:00~18:00 4 休館日・……12月29日~1月3日及び毎週月曜日 5 主な料金 【一般体力測定】 児童・生徒 1人1回 440円、その他の者1人1回 880円 【トレーニングサポート】 児童・生徒 1人1回 1,040円、その他の者1人1回 2,090円 【メンタルサポート】 児童・生徒 1回 5,990円、その他の者1人1回 11,990円 【動作分析】 児童・生徒 1回 3,080円、その他の者1人1回 6,160円		
職員体制	常勤職員:4人 非常勤職員:1人 合計:5人		

2 収支の状況

単位:千円

		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
収入	県支出金	21,955	24,088	35,634
	利用料	1,268	1,306	536
	手数料			
	その他	293	335	
	収入計 (a)	23,516	25,729	36,170
支出	人件費	15,906	17,940	22,093
	管理運営費	7,310	8,005	14,077
	その他			
	支出計 (b)	23,216	25,945	36,170
	収支差額 (a)-(b)	300	△ 216	0

3 利用状況

	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	851	1,059	1,800
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>【利用者アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期 通年。サポート後や測定後に実施 ・方法 Googleフォームの利用 ・回答数 59名 <p>【利用した競技団体へのヒヤリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期 測定・サポート後に実施 <p>【利用した競技団体へのアンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期 年度末に実施(R3年度は15団体に実施) 		
	<p>○ 利用者意見等を踏まえた対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日18時に閉館するため、学生や就労者が利用しづらい。 →開館時間の延長 利用者の希望を事前に聞き取り、必要に応じて閉館時間を遅くすることにより利用促進につなげている。 ・希望する時間に決まったトレーナーのサポートが受けられない ・トレーナー不足 →利用者別の活動報告書を作成し、継続して利用する選手等のサポートを外部トレーナーが対応できる体制を整えた。 ・その他 利用からの意見を取り入れ、競技や選手の特性等にに応じた効率的・効果的なトレーニングを実施し、選手の競技力向上を支援している。 		
	○ その他		
③その他特記事項			

4 令和3年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・法令・事業計画書・協定書(仕様書)等の内容を遵守し、適正な管理運営を行った。 ・事業計画書に沿って業務を行っており、顧客満足度の向上を最重要事項として業務を行っている。 ・サービス向上のため、利用者アンケートや競技団体からの要望を聴取している。また、業務中の気付きや修正点をミーティングで挙げ、改善に努めている。 ・業務開始時、また測定後の反省会を行い、ヒヤリハット事例や改善点を共有し利用者への呼びかけを行っている。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ課及び県スポーツ協会との連携により、競技団体に応じてサービスが提供できるよう計画を立案し、必要に応じて見直すなどサービスの向上に繋げている。 ・利用者に対して測定後、や研修会においてアンケートを実施している。 ・利用者アンケートや団体からの意見をもとに随時改善し、より良いサービスが提供できるよう努めている。
③利用実績	<p>○令和2年度利用実績:841人 ○令和3年度利用者実績:1,059人(対前年比25.9%増)</p> <p>コロナウイルス感染症の対策を講じながら、広報活動等により利用者の確保に努めた。特にトレーニングサポートの利用者が令和2年度の154件から令和3年度は280件(126件増)となった。</p>
④収支の状況	<p>○収入(管理代行料は除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度:1,561千円 ・令和3年度:1,641千円(対前年比5.1%増) <p>○支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度:23,217千円 ・令和3年度:25,946千円(対前年比11.8%増)
総合評価	<p>適切な管理に努めている。コロナ禍の状況でも、外部のサポートスタッフとの連携によりサービス向上に努めている。また、施設を紹介するチラシやホームページ、SNSを活用した広報等により利用者の増加に努めている。今後は、積極的にサポートを行う競技団体数を増やし、競技特性に応じた測定・サポートを提案・実施することが課題である。</p>
	B

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの